

# 新年度を迎え、 育友会へのメッセージ

## オール専修の 一員として 大学の輪の中に

### 理事長 日高義博

ひだか よしひろ 1948年宮崎県生まれ。70年専修大学法学部卒業。75年明治学院大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。同年専修大学法学部講師、その後、助教授、84年に教授。88年法学博士。法学部長（2001～04年）、専修大学長（2004～13年）などを歴任。04年より法科大学院教授。06年より学校法人専修大学理事長。18年より名誉教授。専攻は刑法学。居合道5段。

育友会の皆様には、日頃から専修大学の運営に対してご支援とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年11月の役員改選により理事長に再任されました。5期目に入り、その職務の重さを一層実感しております。今期も人的・物的基盤をより強固なものにすべく、鋭意尽力してまいりますので、皆様の力強いご支援とご協力をお願い申し上げます。

専修大学は、今年9月で創立140年を迎えます。来年の創立140周年に向けた記念事業の遂行も大詰めの時期に入りました。神田キャンパスでは、靖国通り新校舎および黒門前新校舎の建設が着々と進められており、それらと並行して、2020年3月までに神田1号館の研究室増設等の工事も急ピッチで進行することになっております。来年4月には、商学部の神田移転と国際コミュニケーション学部（構想中）の開設を予定しておりますので、工期通りに建設が完了されなければならない状況です。新たな神田キャンパスの構築に向けて、着実に計画を遂行していく所存です。

生田キャンパスでは、2011（平成23）年の東日本大震災で損傷を受けた2・3号館が、一昨年にリニューアルオープンしました。新しい2・3号館は、隣接する生田緑地に溶け込み、生田キャンパスの新たなシンボルとなっております。生田キャンパスでは、4月から開設の「経営学部ビジネスデザイン学科」と「文



↑掛軸は日高理事長所蔵の曹植「洛神賦」、書は松齋（奈良嘉）

学部ジャーナリズム学科」の第1期生を迎えました。専修大学の21世紀ビジョンである「社会知性の開発」が広がっていくことを期待しております。

これまで、大学の進展には“オール専修の力の結束”が必要だと申し上げてきました。本学の21世紀ビジョン「社会知性の開発」を促進するには、教職員・学生だけでなく、育友会の皆様にも大学の活動の輪の中に入っていただくことが必要です。育友会の皆様も大学の使命を果たすオール専修の一員として大学の発展のために共にご尽力いただけますようお願い申し上げます。

専修大学は、創立以来、社会の屋台骨を支える有為な人材を多数輩出してまいりました。18歳人口が年々減少し、大学淘汰の厳しい時代に突入していますが、「学生を基本に据えた大学づくり」をポリシーとして、大学運営を行ってまいります。今後とも、温かいご支援とご協力をいただければ幸いです。